

第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画

平成30年度～平成34年度（令和4年度）

<5年間>

平成30年3月
（平成31年3月一部変更）
胎内市

目次

1.	計画の策定にあたって	1
2.	樽ヶ橋エリアの現状	2
2.1	樽ヶ橋エリアの背景	2
2.2	樽ヶ橋エリアの施設等	3～6
	樽ヶ橋エリアの位置及び施設分布<図>	7
3.	第2次樽ヶ橋エリア活性化の基本方針・基本施策	8
3.1	基本方針	8
3.2	エリア構成	8
3.3	基本施策	8
4.	施設ごとの具体的展開（実施計画）	9
4.1	目標値	9
	樽ヶ橋エリア活性化ランドデザイン<図>	10
4.2	施設ごとの施策	11～18
4.3	辺地事業債を活用した計画（予定）	19
	樽ヶ橋遊園全体計画<図>	20

1. 計画の策定にあたって

策定の目的

樽ヶ橋エリア一帯は、古くから景勝地として知られ、旧黒川村時代には胎内観音や樽ヶ橋遊園などの各種施設が整備・建設され、風光明媚な観光地として親しまれてきました。

平成20年に胎内市観光振興ビジョンが策定され、このエリアに胎内市観光交流センター及び樽ヶ橋河川公園が整備されたことを機に、施設群を活用した一層の活性化を図る必要性が高まっています。

この「第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画」及び「実施計画」はこうした背景を踏まえ、樽ヶ橋エリアの活性化に向け、このエリアが今後目指すべき姿を示すとともに、整備や取組みの具体的な方向性を示すことを目的として策定したものです。

位置づけ

この計画は「第2次胎内市総合計画（基本構想・基本計画）＜平成29年度策定＞」や「第2次胎内市観光振興ビジョン＜平成30年度策定＞」などの計画を踏まえ、樽ヶ橋エリアが今後目指すべき姿、取組みの方向性、及びエリア内の各施設における具体的な施策について整理したものです。

計画の期間

この計画の期間は、平成30年度から令和4年度までの5年間とします。

2. 樽ヶ橋エリアの現状

2.1 樽ヶ橋エリアの背景

●位置

樽ヶ橋エリアは、胎内川の中流域、胎内川が蔵王山塊と楡形山脈に挟まれた山間部から越後平野に流れ出る、扇状地の扇の要部分にあたります。胎内川に架かる「樽ヶ橋」を中心としたエリアです。

●歴史・伝説

樽ヶ橋の歴史は古く、平安時代から鎌倉時代初期にかけて「奥山荘」を中心に栄えた城氏一族の砦が、この樽ヶ橋の南、鳥坂山から白鳥山にかけて築かれました。城氏滅亡の際、鳥坂城主・城小太郎資盛を落ち延びさせるために、吾妻鏡で有名な叔母の板額御前が最後の力を振り絞って山上の岩を蹴落として橋台とし、丸太を渡したという伝説があり、その城小太郎が渡ったことで名がついた「小太郎が橋」が、やがて「樽ヶ橋」になったと伝えられています。

樽ヶ橋の北の蔵王山塊には黒川城跡や蔵王権現、南の「日本一小さい山脈」楡形山脈には鳥坂城跡などの史跡があり、歴史の舞台に囲まれています。

●景勝地

樽ヶ橋は巨岩の間を勢いよく流れる胎内川の溪流の景観とともに、古くから藤の花や鮎の名所として知られてきました。

現在は美しいアーチ形の樽ヶ橋が掛けられ、緑深い周囲の景観に溶け込んでいるほか、周辺に胎内観音、樽ヶ橋遊園、黒川郷土文化伝習館、胎内市美術館、クアハウスたいないなどの施設が配置され、胎内市民にとっての憩いの場となっています。(胎内二王子県立自然公園の一部に指定)

2.2 樽ヶ橋エリアの施設等

①樽ヶ橋エリアの施設・見どころ

自然豊かで風光明媚な樽ヶ橋エリアには、観光交流センター・越後胎内観音のほか、いくつかの観光施設・文化施設等が集積している。

●観光交流センター

昭和47年に開設された国民宿舎（胎内グランドホテル）の跡地に建設され、平成22年にオープンした観光案内・観光交流施設。当施設をはじめ、樽ヶ橋周辺の施設群が道の駅胎内として登録されている。※

●樽ヶ橋遊園

昭和52年開園。メリーゴーラウンドなどの遊具、ゴーカートなどの乗り物や、動物園、レクリエーション広場などを備えた遊園地。

●黒川郷土文化伝習館

昭和55年開設。当初は旧黒川村の、現在は胎内市の考古・歴史・民俗文化を紹介する施設。火起こしなど、さまざまな歴史体験ができる。

●胎内市美術館

平成28年開設。木のぬくもりを感じる館内で、胎内市に所在する古代から現代までの貴重な美術品や、郷土ゆかりの作家作品などを鑑賞できる美術館。談話室では作品づくり体験なども楽しむことができる。

●クアハウスたいない

平成6年開設。新樽ヶ橋温泉を利用した温泉浴槽、温水プール、トレーニングルーム等を備えた健康増進施設。

●越後胎内観音

昭和45年に羽越水害（昭和42年）の殉難者の冥福と、災害復興、国土の安全、世界の平和を祈り、建立。総丈7.3メートル、重量4トンの日本最大級の青銅製観音像。

●櫛形山脈登山道と鳥坂城跡

当エリアは櫛形山脈縦走コースの北端にあたり、鳥坂山へ通じる胎内観音コースの登山口がある。鳥坂城には板額御前が奮戦したエピソードが伝えられている。（国指定史跡奥山荘城館遺跡の一部）

●蔵王山塊と黒川城跡・蔵王権現遺跡

いずれも樽ヶ橋北側の蔵王山塊にある黒川氏関連の遺跡。黒川城は下館要害山の尾根上にあり山城の遺構が現存する。蔵王権現は黒川氏代々の祈願所として蔵王山に祀られ、権現堂などが残る。(国指定史跡奥山荘城館遺跡の一部)

●大蔵神社

中世には黒川氏の鎮守であり、江戸時代には黒川藩主代々が崇拝した神社。境内には新潟県最大級の傘松の根株(市指定文化財)が保存されている。黒川氏城館遺跡群の山麓にあり、当時の土塁等も残る。

●樽ヶ橋河川公園

平成23年度に胎内川河川敷に憩いの広場として整備され、平成29年度に樽ヶ橋交流センター駐車場から河川公園へ通じる階段が新設された。

●黒川フルーツパーク

果樹栽培の振興と都市・農村交流を目的に、平成8年に開設。

●黒川石油公園・シンクルトン記念館

黒川石油公園は昭和61年に整備され、平成6年に公園内の臭水油坪が国史跡に指定される。シンクルトン記念館は平成8年に公園内に開設され、古く日本書紀にも記録されている、この地から湧出する「燃える水(石油)」を紹介する。毎月7月1日に黒川燃水祭を開催している。

●胎内川頭首工・ふれあい公園

胎内川頭首工は平成元年に完成し、胎内川下流域の農業用水を取水している。胎内川沿岸土地改良区に隣接するふれあい公園は、せせらぎ水路・築山などが整備され、サクラ並木、イチョウなどさまざまな木々が見られる。郷土の偉人奥村誠吉の胸像、伊藤孝二郎の記念碑も立つ。

●越後胎内水天宮

羽越水害の復興と永遠に災禍から免れる願いを込めて、昭和44年に江戸時代から胎内川守護神として祀っていた水神様を合祀して建立。胎内川右岸の流紋岩の岩山に鎮座する姿は、赤松などの自然林と一体化して溪谷美をかもし出す。

●胎内川の鮎と鮭

樽ヶ橋附近の胎内川は古くから鮎の名所として知られており、現在でもアユ釣りを楽しむ人が訪れるほか、サケの遡上も見られる。

●鳥坂神社（馬頭観音）

下赤谷にあり、平安時代には馬頭観音像を本尊に城氏の守護神として崇拜され、江戸時代には近隣から多くの人が祭礼に訪れ賑わった。境内に立つ大樅は、正徳3（1713）年観世音堂建立当時のものとして市指定文化財（天然記念物）に指定されている。祭礼「シャングシャング馬」が4月18日に行われる。

●有楽荘

昭和58年開設の福祉交流センター。

●たるが橋里山食堂（有楽荘内）

樽ヶ橋エリアを訪れる来場者へ飲食を提供する施設として、平成29年に有楽荘の一部を改修し、食堂が新設された。

※現在「道の駅胎内」に登録されている施設は、中核施設である観光交流センターのほか、樽ヶ橋遊園、黒川郷土文化伝習館、クアハウスたいない、越後胎内観音。休憩施設・観光案内所・温泉施設・遊園地・歴史資料館など多様な機能が集積した道の駅となっている。平成6年4月に登録された。

②樽ヶ橋エリアの観光客数

樽ヶ橋エリアの過去5年間の観光客数（入込客数）を見ると、エリア全体の入込客数は、平成27年度の約26万2000人をピークに平成28年度以降は減少しています。特にクアハウスたいないの入込客数が減少傾向にあります。

表 樽ヶ橋エリア各観光地点の入込客数＜過去5年間＞

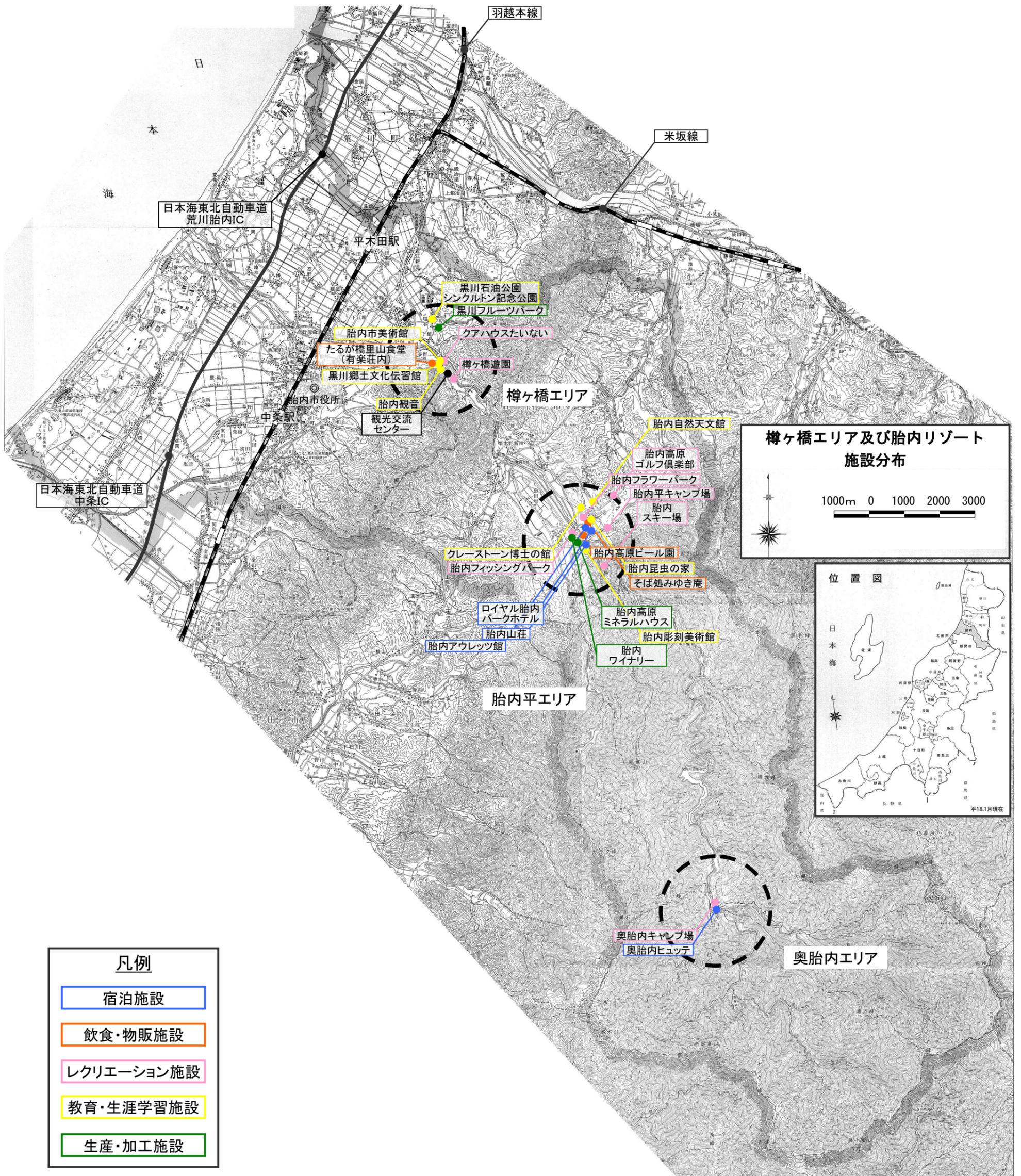
（人※一の位切上）

観光地点名	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
観光交流センター	36,810	44,050	57,050	51,450	53,160
樽ヶ橋遊園	31,830	27,810	37,530	32,830	34,140
黒川郷土文化伝習館	2,880	3,210	3,040	3,510	3,340
胎内市美術館	—	—	—	5,070	4,910
クアハウスたいない	132,000	134,440	132,560	106,520	101,980
越後胎内観音	22,030	21,750	21,940	21,340	19,590
楡形山ハイキング	7,830	8,670	8,700	8,220	6,970
たるが橋里山食堂	—	—	—	—	8,660
その他(ソクトン記念館)	2,570	2,210	2,070	2,140	3,920
樽ヶ橋エリア合計	235,950	242,140	262,890	231,080	236,670

※観光交流センターの数値は、H27年度～物販棟の入込客数を加えた合計数

※H29年度までの実績値

図 樽ヶ橋エリアの位置及び施設



1. 樽ヶ橋エリア活性化の基本方針・基本施策

1.1 基本方針

「第2次胎内市観光振興ビジョン」の基本コンセプトを踏襲し、「どこにでもある田舎から何度も訪れたくなる“ふる里”に」づくりを進め、また、胎内リゾートへの入口と位置づけられる場所として、胎内市の観光振興、地域の活性化へとつなげていくことを目指します。

1.2 エリア構成

胎内市民の憩いの場として位置づけ、当エリア内の観光資源を有機的に結び付けてその魅力を最大限に発信するとともに、胎内リゾートと中条エリアの結節点として、これらエリアを結び付ける観光の発信地として位置づけます。

1.3 基本施策

基本方針実現に向けた基本施策は以下の通りです。

①観光交流・観光情報の拠点としてのまちづくりの推進

- ▶ 観光交流センターを観光交流・観光情報の発信地として、観光協会を主体とした人員体制及び人材育成を強化します。

②自然・歴史文化・各施設の観光資源の連携

- ▶ 観光資源を有効に活用し、エリアの自然・歴史・文化・芸術・食・産業などの魅力を誘客に繋げるため、胎内リゾート魅力向上委員会を主体として、定期的に委員会を開催しながら、市内の事業者や施設間の情報共有と連携を図ります。
- ▶ また、イベントや体験等を活用したエリア全体での集客力の向上に取り組めます。(体験コースの設定、着地型ツアーとの結び付けなど)

③エリアへの訪問者の満足度の向上のための人材育成

- ▶ エリアの各施設の担当が訪問者を気持ちよく迎え入れることができるように、観光ボランティアを含めた観光がっくなどの人材育成を実施します。

④辺地事業債等を活用したエリアの整備事業

- ▶ 辺地事業債等を活用して、老朽化した施設や景観の整備を実施します。

2. 施設ごとの具体的展開（実施計画）

2.1 目標値＜H30～H34 年度までの 5 年間＞

第2次樽ヶ橋活性化委基本計画・実施計画における樽ヶ橋エリアの入込客数目標は以下の通りです。

(人※一の位切上)

観光地点名	現状値					目標値
	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	H34 年度
観光交流センター	53,160	51,000	51,500	51,500	51,500	51,500
樽ヶ橋遊園	34,140	35,000	37,000	39,000	40,000	41,000
黒川郷土文化伝習館	3,340	3,700	3,800	3,900	4,000	4,100
胎内市美術館	4,910	5,800	5,900	6,000	6,100	6,200
クアハウスたいない	101,980	109,000	111,000	113,000	115,000	117,000
越後胎内観音	19,590	21,000	21,500	22,000	22,500	23,000
櫛形山ハイキング	6,970	7,000	7,500	8,000	8,500	9,000
たるが橋里山食堂	8,660	13,000	15,000	16,000	16,000	16,000
その他(シクルトン記念館)	3,920	3,900	1,200	1,200	1,200	1,200
樽ヶ橋エリア合計	236,670	249,400	254,400	260,600	264,800	269,000

※H29年度の現状値はH30年1月末時点での数値

※シクルトン記念館はH31年度より予約のみの営業

**蔵王山塊・フルーツパーク
シンクルトン記念館**

クアハウスたいない

- ・胎内加工品等のPR及び販売
- ・利用者への利用割引サービス
- ・新規企画の実施
- ・新たな観光客や新規会員の誘客対策
- ・民間活力の利用（指定管理者制度等）
- ・利用料金の適正化
- ・レジャー及びレストスペースの推進
- ・計画的な施設改修 ・コンシェルジュ機能の向上

**胎内川沿岸
土地改良区**

胎内市美術館

- ・樽ヶ橋エリア内の観光施設、文化施設、自然資源等との連携
- ・地域に密着、貢献する企画展の開催
- ・胎内市の美術作品を紹介するツアーの実施
- ・アート体験プログラムのPR
- ・施設前庭、周辺環境の整備
- ・展示収蔵室の維持管理・美術館案内看板の設置
- ・解説や指導を行う市民の育成と確保
- ・芸術作家の育成、学校美術担当教員による研究

黒川郷土文化伝習館

- ・新たなプログラムの開発
- ・企画展の開催、展示替えの実施
- ・文化財、遺跡を紹介するツアーの実施
- ・体験プログラムの更なるPR
- ・歴史文化を発信基地としての認知度の向上
- ・文化財総合案内看板の設置
- ・解説や指導を行う市民の育成と確保

H29.3 食堂に改修



たるが橋里山食堂（有楽荘内）

- ・樽ヶ橋エリアに訪れる方へ飲食の提供

櫛形山脈

- ・蔵王山塊と櫛形山脈の登山ルートを活用
- ・樽ヶ橋を拠点とした周回コースの整備
- ・「日本一小さな山脈」として絶景ポイントや看板等を整備

H30.4 公園園路整備



たるが橋観光交流センター

- ・情報発信の充実
- ・取扱い特産品の種類の充実
- ・観光ツアーの充実
- ・各案内の充実
- ・観光協会の人材育成・組織の強化
- ・観光ボランティアガイドの人材育成
- ・電気自動車用充電設備の活用

樽ヶ橋河川公園

- ・イベントの開催
- ・健康ウォーキングコース等での利用
- ・バーベキュー広場・レクリエーション設備の導入
- ・新規に設置した階段を活用した河川公園への誘導

樽ヶ橋遊園

- ・周辺施設との連携による一般・団体客の獲得
- ・リフレット等の啓発物リニューアル及び宣伝広報活動
- ・シーズンパス・イベントカード等、優待特典の導入の検討
- ・辺地事業債を活用した施設の回収計画
- ・屋根付き休憩施設の新設
- ・自動販売機・売店コーナーの充実
- ・シーズンオフ時等の施設の有効活用
- ・ガイド説明スタッフの育成

越後胎内観音

- ・パワースポットとしての情報発信
- ・歴史文化財としてPR
- ・敷地内の整備

H29.11 大型複合遊具新設



馬頭観音

4.2 施設ごとの施策と進捗状況

(1) たるが橋観光交流センター

【基本方針】

<ul style="list-style-type: none"> ● 地域及び地域外との交流機能を促進することができる方策の充実 ● 観光案内の充実に資する情報の確保 ● 活性化を目的とした行政・地域と連携したイベントの企画と運営
--

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					责任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
営業・販売	情報発信の充実	・ペーパーレスとして発信の基本を「胎内観光NAVI」とし、情報の充実及び各所・グループとの連携を図る。 ・「胎内観光NAVI」を英・韓・中国語の3ヶ国語対応に更新する。						観光協会
	取扱特産品の種類の充実	・胎内市内の取扱特産品の調査・検討を行い商品の充実を図る。 ・「そこに行かないと買えない」付加価値の連携強化を図る。						観光協会
	観光ツアーの充実	・キノトラベルなどと連携し、新規の胎内市観光ルートの醸成を図る。 ・関係先と連携を図り、同じツアー繰り返さないよう企画する。						市観光協会
人材	案内の充実	・お客様への「わかりやすい」案内に努める。 ・樽ヶ橋エリア施設間の連携を強化し、漏れのない案内・紹介に努める。						観光協会
	観光協会の人材育成・組織の強化	・定住自立圏、阿賀北広域観光圏づくり推進協議、新発田・村上エリアなどの枠組みへの参加により人材育成の強化を図る。 ・必要な研修会を実施し意識の向上を図る。						市観光協会
	観光ボランティアガイドの人材育成	・胎内市を案内する観光ボランティアガイドの人材育成を行う。						市観光協会
施設	電気自動車用充電設備の活用	・道の駅として電気自動車用充電設備のサービス向上を図る。						市観光協会

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	11,946	修繕費・施設運営委託料など
H31	38,986	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H32	11,346	修繕費・施設運営委託料など
H33	11,346	修繕費・施設運営委託料など
H34	11,346	修繕費・施設運営委託料など

(2) 樽ヶ橋遊園

【基本方針】

●見るだけでなく、動物たちと触れ合える動物園

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					责任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
営業・販売	周辺施設との連携による一般・団体客の獲得	・ロイヤル胎内パークホテルや市内施設と連携し、また、広域の保育園や小学校等にPRを強化し、来場者の誘客を図る。	■	■	■	■	■	市
	ポスター・リーフレット等、啓発物のリニューアル及び宣伝広告活動	・辺地債による改修計画と合せポスター・リーフレット等、啓発物のリニューアルを実施する。また、施設の改修後のリニューアルオープンに伴う宣伝広告活動に努める。	■	■	■	■	■	市
	シーズンパス券・ポイントカード等、優待特典等の導入	・来場者の満足度の向上を図るため、アンケートを実施し多くの意見を考慮して、年間シーズンパス券やポイントカードの導入について検討する。	■	■	■	■	■	市
施設	辺地債を活用した施設の改修を計画。	・辺地債を活用して、老朽化した管理棟や動物舎の改修、園内のインフラ整備・更新と機能強化を計画し、H33年度までの履行を目指す。	■	■	■	■	■	市
	自動販売機・売店コーナーの充実。	・園内散策の満足度を向上させるため、園内の動物が背景になったプリクラ写真コーナーや売店コーナー等の充実を図る。	■	■	■	■	■	市
	シーズンオフ時の施設の有効活用。	・冬季期間中にスノーシューを履いて冬の園内を散策したり、普段見ることない冬の動物たちを観察するようなイベントを企画し、新たな施設の魅力を発見する。	■	■	■	■	■	市
人材	ガイド説明スタッフの育成。	・リゾート・樽ヶ橋エリアを含む、自然・歴史・文化・動物を含むガイド説明を行える人材の育成。また、新たな樽ヶ橋遊園の魅力をHPやブログ等で積極的に情報発信する。	■	■	■	■	■	市

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	192,358	運営需要費、施設改修工事費など
H31	133,102	運営需要費、施設改修工事費など
H32	321,383	運営需要費、施設改修工事費など
H33	14,657	運営需要費など
H34	14,657	運営需要費など

(3) 黒川郷土文化伝習館

【基本方針】

<ul style="list-style-type: none"> ●誰でも気軽に楽しめる体験プログラムの充実化を図る ●単なる生涯学習施設ではないスタッフの対応と展示の面白さを追及
--

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					責任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
プログラム	新たなプログラム(見学・体験)の開発	・黒川城、蔵王山(親子登山、PTA登山、ふるさと体験学習)の体験登山の定着化	→					市
		・子ども会対象の体験教室メニューの開発。 ・子ども向け民具体験シートの更新(雪国体験シートの追加) ・テーマ別スライド(北前船と胎内市)の作成。出前講座の開催。	→	→				市
		・H30年度美術館事業と連携したイベントの実施	→					市
	企画展の開催、展示替えの実施	・市民から寄贈された民具の展示、公開 ・H30年度は隣接する胎内市美術館と連携企画展を予定(胎内市船絵馬展等)	→					市
		・民具体験コーナーの充実(新寄贈民具、胎内ゆかりの民具体験コーナー)	→	→				市
	胎内市の文化財・遺跡を紹介するツアーの実施	・蔵王山登山(6月)、太古のロマン大波石ウォーキング(7月)、米沢街道、大櫓を歩く(9月)、北前船文化巡り(10月)、黒川氏の軌跡をたどる(黒川城、黒川館跡、家臣団居館跡等)(11月)	→					市 観光協会
体験プログラムの更なるPR	・市内小中学校への体験プログラム資料の配布 ・雑誌、書籍等での施設の体験内容の紹介	→	→	→	→	→	市	
施設	胎内市の歴史文化を発信基地としての認知度の向上	・NHK等で体験学習の紹介	→	→	→	→	→	市
		・東京国立博物館、フランスパリ博物館等への出展(縄文時代漆製品) ・市報たいない「胎内市の歴史探訪」での紹介	→					市
	文化財総合案内看板の設置	・隣接する美術館サインと併せた看板を制作予定。	→					市
人材	解説や指導を行う市民の育成と確保	・市民を対象にした観光ボランティアガイド育成事業を実施予定。 ・隣接する美術館と併せて、サポーターズ倶楽部を設立したので、わらじづくり教室などのイベント、草刈整備、ガイド育成講座等、様々な事業の展開。	→	→	→	→	→	市 観光協会

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	2,581	運営需要費など
H31	2,581	運営需要費など
H32	2,581	運営需要費など
H33	2,581	運営需要費など
H34	2,581	運営需要費など

(4)胎内市美術館

【基本方針】

<ul style="list-style-type: none"> ●胎内市の古代から現代までの美術品を鑑賞できる美術館 ●子どもから大人まで気軽に訪れ、入りやすい美術館 ●芸術愛好家が集う、市民に開放された芸術文化交流施設 ●樽ヶ橋エリア芸術文化ゾーンの魅力向上に寄与する美術館

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					责任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
プログラム	樽ヶ橋エリア内の観光施設、文化施設、自然資源等との連携	・樽ヶ橋自然観察会7/7(昆虫・植物)	→					市
		・黒川郷土文化伝習館の民具体験とあわせて美術館作品鑑賞の実施	→					市
	地域に密着、貢献した企画展の開催、展示替等の実施	・春の特別展「早津 剛展」4/28～6/24 ・夏の特別展「伊藤省風展」6/30～8/19 ・秋の特別展①「金子ボボアート展」9/1～10/14 ・秋の特別展②「佐藤美紀展」10/27～12/22 ・冬の特別展「県展・芸展作家展in胎内市Ⅱ」1/12～3/17 ・天下太平くん原画展の開催	→					市
	胎内市の美術作品を紹介するツアーの実施	・胎内市の美術品鑑賞ツアー 9月中	→					市
	アート体験プログラムのPR	・レザークラフト、昔の遊び体験、スノードームづくり、つるし雛づくり、まが玉づくりなどを広報、新潟日報等でPRする。	→					市
	芸術作家の育成、学校美術担当教員による研究	・市内、市外小中学校美術担当職員との研究会、説明会の開催	→					市
・ジュエリーデザイン教室の開催 12/21～22		→					市	
施設	施設前庭、周辺環境の整備	・胎内市美術館サポーターズ倶楽部の協力により前庭、周辺環境整備の整備。施設窓ガラス拭き。花壇の整備等を行う。	→					市
	展示収蔵室の維持管理	・収蔵室の点検作業。適切な湿度、温度管理を行う。	→					市
	美術館案内看板の設置	・国道7号線付近に看板の設置する。	→					市
人材	解説や指導を行う市民の育成と確保	・胎内市美術館サポーターズ倶楽部で定例会を開催し、人材の育成事業等を実施する。	→					市 観光協会

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	9,565	運営需要費など
H31	9,565	運営需要費など
H32	9,565	運営需要費など
H33	9,565	運営需要費など
H34	9,565	運営需要費など

(5)クアハウスたいない

【基本方針】

●胎内リゾートの活性化(魅力向上)へ向けた『情報発信・誘引』

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					责任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
営業・販売	胎内リゾート産の加工品等のPRおよび販売	・胎内ジャージー商品(牛乳・ヨーグルト)、胎内ハムの販売 ・胎内市及び近隣の特産物(加工品)の販売。	→	→	→	→	→	指定管理者
	胎内リゾート施設利用者へ、クアハウスたいない利用割引サービス	・櫛形山脈山開き登山、トレッキングツアー参加者⇒入浴割引100円引き ・胎内市観光大使やらにゃん割引⇒入浴割引(大人300円引き・小学生無料) ・SDカード、ニピイカード、各100円引き ・クアハウス割引キャンペーンとして毎月7のつく日と11日 クアハウス利用(プール+お風呂)⇒大人700円 ・胎内リゾート施設利用で入館料割引	→	→	→	→	→	指定管理者
	新規企画の実施	・毎月第2土曜日ファミリーDay(中学生以上1名700円、小学生2名まで無料) ・5月5日子供の日⇒小学生プール利用入館料 350円	→	→	→	→	→	指定管理者
		・風呂の日割引サービスの検討。(毎月)	→	→	→	→	→	指定管理者
	新たな観光客や新規会員の誘客対策	・スタンプカードの実施。 ・日帰り温泉施設紹介(割引など)の雑誌等の参加。(民間活力の利用に関連)	→	→	→	→	→	指定管理者
	民間活力の利用	・H29年度より指定管理期間 5年間更新。(次回:H34年度予定)	→	→	→	→	→	市 指定管理者
		・売店販売商品の充実。(GW~夏休み繁忙期に対応) ・秋田物産の開催。	→	→	→	→	→	指定管理者
	利用料金の適正化	・会員入会及び会員更新時に優待券進呈 ⇒ 1か月に1枚 ・夏休み子供会員(限定一か月)の実施(一か月3,000円)	→	→	→	→	→	指定管理者
		・館内修繕に伴う会員料金(長期休館の場合)の設定。	→	→	→	→	→	市 指定管理者
		・入浴回数券発行の検討。	→	→	→	→	→	指定管理者
施設	(胎内リゾート利用者へ)レジャーおよびレストスペースの推進	・トレーニングルームの活用(サークル) ・ヨガ教室(毎週火曜日)、パレエ教室(毎週木曜日)、新しいサークルの勧誘(金曜日Pm6時以降)	→	→	→	→	→	指定管理者
	計画的な施設改修	・辺地債を活用した施設改修工事を予定。(H30年度は秋季の予定)	→	→	→	→	→	市
人材	胎内リゾートへのコンシェルジュ機能を向上	・胎内リゾート各施設の観光情報・催し等の案内ポスターを掲示。 ・飲食を希望される来館のお客様に「里山食堂」を紹介。	→	→	→	→	→	指定管理者

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	185,267	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H31	123,864	修繕費・施設運営委託料・施設改修工事費など
H32	40,815	修繕費・施設運営委託料など
H33	40,815	修繕費・施設運営委託料など
H34	40,815	修繕費・施設運営委託料など

(6)越後胎内観音

【基本方針】

●歴史文化財の管理

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					責任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
PR	パワースポットとしての情報発信	・パワースポットやご利益などの観光的要素を盛り込みながら情報発信する。						越後胎内観音奉賛会 観光協会
	歴史文化財としてPR	・昭和42年の羽越水害の殉難者の冥福と災害復興等を祈って建立された歴史的経緯を鑑み、歴史文化財と位置づけてPRを行う。						越後胎内観音奉賛会 観光協会
施設	敷地内の整備	・現在使用していない売店建物について、民間事業者の運営による有効活用を図る。(飲食の提供等)						越後胎内観音奉賛会

(7)檜形山脈・蔵王山塊

【基本方針】

●日本一小さい山脈の登山道の管理と利用者への安全を保つ。

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					責任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
ツアー・整備	蔵王山塊と檜形山脈の登山ルートを活用	・蔵王山脈・蔵王山塊や檜形山脈を散策するツアーを実施する。						市 観光協会
	樽ヶ橋を拠点とした周回コースの整備	・関沢周辺登山道の整備(再測量等)。						市
	絶景ポイントと看板等の整備	・登山道の一部(市ノ沢コース)廃道に伴う返地申請を行う(看板整備のため)。						県・市

(8) 樽ヶ橋河川公園

【基本方針】

●河川公園の活用を充実する。

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					責任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
活用	イベントの開催	・樽ヶ橋エリアの周辺施設や胎内リゾートエリアと連携したイベント(胎内川新緑まつりなど)を開催する。						観光協会
	健康ウォーキングコースでの利用	・健康ウォーキングコースなどの利用を推進する。						観光協会
施設	バーベキュー広場・レクリエーション設備の導入	・イベント以外の通年の活用策を検討する。(バーベキュー広場、簡易レクリエーション設備の導入)						観光協会
	河川公園への誘導・活用	・観光交流センター駐車場から河川公園に通じる階段通路を有効に活用し、河川公園への出入りにおける、エリア内の動線を誘導する。						観光協会 市

(9) 有楽荘

【基本方針】

●樽ヶ橋エリアに訪れた人々への飲食の提供。

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					責任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
営業	飲食の提供	・胎内産食材を使用したメニュー設定を行い、リピーターに結びつける。 ・お客様にスムーズに食堂まで入って頂ける導線づくり。						市 指定管理者

【資金計画】

年度	金額(千円)	内容
H30	15,000	施設運営委託料など
H31	16,000	施設運営委託料など
H32	16,000	施設運営委託料など
H33	16,000	施設運営委託料など
H34	16,000	施設運営委託料など

(10)その他

【基本方針】

●樽ヶ橋エリア全体の景観整備

【具体的な展開策】

	名称	内容	実施年度					责任担当
			H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)	
宣伝	フルーツパーク・シンクルトン記念館等周辺施設との連携	・フルーツパーク、シンクルトン記念館・石油公園、土地改良区の施設・公園などの施設をエリアの観光施設・観光スポットとして組み入れ、施設間の連携を強化し、誘客に努めていく。						市観光協会
	馬頭観音のPR	・下赤谷の鳥坂神社(馬頭観音)の歴史をPRする。						観光協会
景観	藤の整備	・樽ヶ橋周辺の藤を整備する。						市観光協会
	エリア全体の景観整備	・樽ヶ橋エリア各施設が当番制でゴミ拾いや掃除を実施し、来場者が気持ちよく利用できるよう景観の整備に努める。						全施設

4.3 辺地事業債を活用した計画(予定)

注意:計画(予定)は、H30年3月現在(当初)のものであり、財政状況及び辺地計画の見直しなどの理由により、予告なく変更される場合がある。

●観光交流センター

目的:新規機能の付加

内容:駐車場の改修及び拡張、園路整備による機能強化

●樽ヶ橋駐車場(クアハウス前)

目的:施設更新

内容:老朽化した駐車場の更新

●樽ヶ橋遊園

目的:施設更新・新規機能の付加

内容:老朽化した園内建築物の建替え等の施設更新

雨天時の利用機能付加、動物舎の展示機能強化、園内庭園更新

●クアハウスたいない

目的:施設の機能維持

内容:機能維持を目的に老朽化した設備機器等を大規模に改修

表

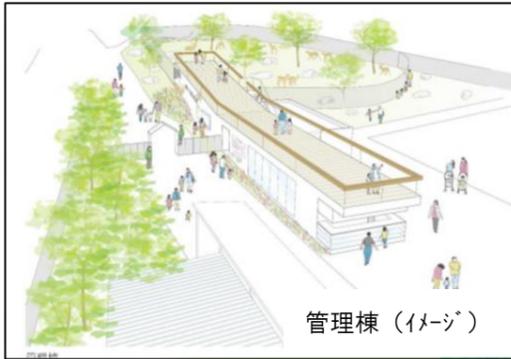
観光地点名	工事・委託名	経過	計画(予定)				
		H29	H30	H31 (R1)	H32 (R2)	H33 (R3)	H34 (R4)
観光交流センター	樽ヶ橋遊園園路整備工事	→	→				
樽ヶ橋駐車場 (クアハウス前)	駐車場整備工事			→			
樽ヶ橋遊園 (別紙、全体計画図有)	屋根付休憩施設新設工事		→				
	園内改修工事			→	→	→	
	管理棟・動物舎改修工事				→	→	
	インフラ整備工事		→	→	→	→	
	設計業務委託	→	→	→	→	→	
クアハウスたいない	衛生給排水設備工事		→	→			
	電気設備工事		→				
	建築工事		→				
	設計業務委託	→	→	→			

辺地債を活用した樽ヶ橋遊園改修工事全体計画（予定）パース

注意：計画（予定）は、H31年3月現在のものであり、財政状況及び辺地計画の見直しなどの理由により、予告なく変更される場合がある。

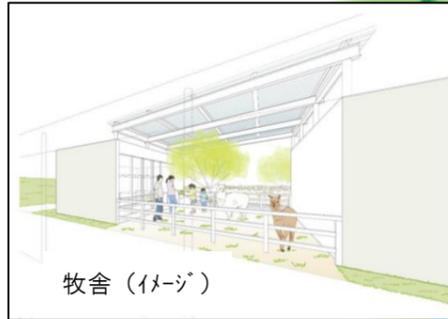
北側エリア（H32～33年度計画）

- 動物舎の更新、管理棟の更新
- 外周フェンス更新、インフラ整備等



南側エリア（H31年度計画）

- 藤棚改修、外周フェンス更新
- 砂場エリアの更新、インフラ整備
- 水路の整備等

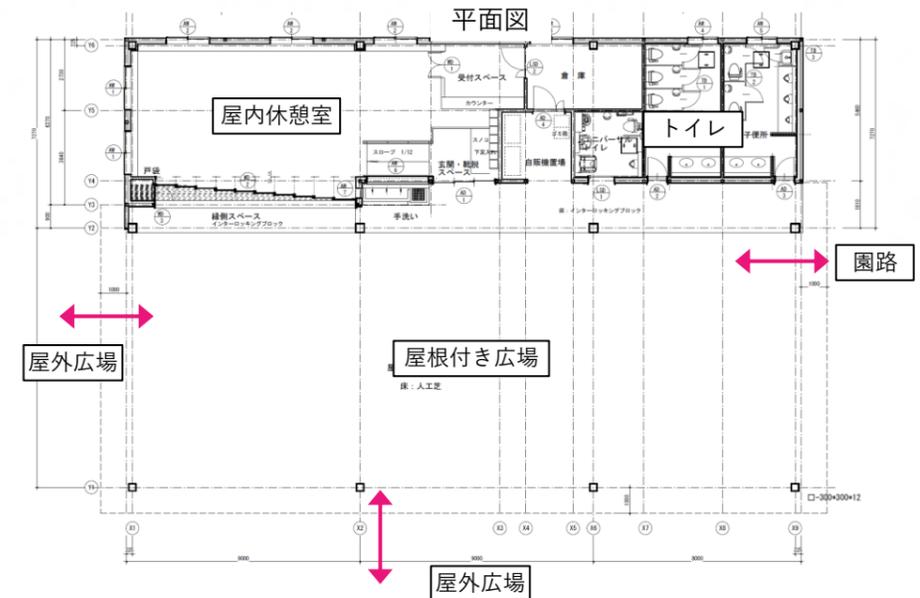


屋根付き休憩施設（H30年度計画）

- 屋根付き休憩施設
- 屋外芝生広場

大型複合遊具（H29.11新設）

- 園内中央芝生広場に大型複合遊具を新設



至 胎内市街

至 胎内スキー場

第2次樽ヶ橋エリア活性化基本計画・実施計画

平成30年度～平成34年度(令和4年度)

<5年間>

(平成31年3月一部変更)

胎内市

〒959-2693 新潟県胎内市新和町2番10号

TEL:0254-43-6111 FAX:0254-43-5502